

建設分野における外国人 の受入れ事例

「技能実習生」そして「特定技能外国人」

外国人技能実習生を受入れたきっかけと想い

- ・ 実習生を雇用されている他社様から話を聞いて
- ・ 会社の発展の為と社員の意識改革・内部活性化



そして決断・現地面接

2017・4月



技能実習生受け入れにかかった費用

受入れ前・入国時 2017～2025

- ▶ 組合加入費・選抜費用・事前学習費用・外国人技能実習機構認定申請手数料
在留資格許可申請費用・航空券・国内交通費・実習生保険・講習手当・雇入れ健康診断・法定講習費・法的保護講習費・生活スタート用品代・寮準備費
- 一人につき 約30万円～約40万円

受入れ入国後 2017～2026・現在

組合管理費・送り出し機関管理費・技能検定試験費用・在留資格申請費用
寮費家賃補助・通信費等

一人につき※毎月 約30000円～55000円

実習生として在籍

2026現在18人在籍

建設機械施工・14名

左官工・2名

型枠工・2名の実習生



これまで雇用した実習生／計41名その後



2019・4月から特定技能制度が新施行 活用

大切に育て上げた戦力・仲間の確保

を目的として特定技能として資格移行し

- ・ 17名は今も実習生1号・2号として在籍中
- ・ 1名は実習生3号にて在籍中
- ・ 6名は実習実施後に特定技能1号に資格変更をして在籍中
- ・ 4名は一旦帰国退社したが、後に復帰して特定技能として在籍中
- ・ 3名が特定技能2号に合格して登録支援機関の**対象外**となり在籍中
- ・ 11名は実習終了後退社し帰国

結果13人の実習生が特定技能として残留し貢献してくれている。

少子高齢化・人材不足が進む日本国内 の建設業界にて会社の明るい未来と・事業 継承には不可欠である人材の育成と確保

- ・社員数の内約半数以上が弊社で育て上げ、鍛錬した特定技能1号・2号と技能実習生

実習生の中から多くの免許・資格の習得

中型・普通自動車免許 車両系建設機械 3 t 以上

大型特殊免許 玉掛 小型移動式クレーン フォーク
リフト 高所作業車 不整地運搬車等...

特定技能受け入れにかかった費用

特定技能1号に資格移行時

申請書類作成委託費用等

一人につき 約7万円

特定技能に資格移行後

登録支援機関・建設技能人材機構・寮費家賃補助

一人につき※毎月約40000円



海外送り出し機関から採用すると 別途

渡航費・紹介手数料・申請書類作成等

一人につき 約30万円～60万円+※毎月約40000円

※海外から採用し来てもらうよりも

実習生から特定技能に移行するかもしくは日本国内の他社（他県）から来てもらう方がかなり費用を抑えられる

外国人技能実習生と接して学び感じて、実践した自社における実習生・特定技能外国人との向き合い方

- ・基本的に「日本人も外国人技能実習生も同じ社員・同じ人」

日本人の全社員に理解してもらう。

コミュニケーション能力のある実習生の採用

(優良な監理団体・送り出し機関の選定)

- ・実習生に日本（福井県）での生活を充実した楽しいものにしてもらう。

生活ストレスの少ない環境作り・社員旅行やオリエンテーション
運転免許所得を推進しサポートをした

**令和6年9月～特定技能2号合格を目指して週6日（20時～22時）勉強会
を実施して参加者の中から令和6年～7年の一年間で3名も合格する事が
出来て、在留期限の上限なく就業可能となった**



今後も私が取り組もうとしている事

特定技能1号から2号への更なる合格へのサポート

特定技能外国人の更なる増員

※他県から優秀な人材を誘致

福井県の良さを大いにアピールして！

- ・ 四年連続幸福度ランキング総合1位！の福井県（人柄）
- ・ 建設産業外国人労働者相談センターがある
- ・ 空気が綺麗、豊かな自然も身近にあり水道水も美味しい
- ・ 特定技能移行支援事業補助金の活用

私の今後の目標

これからも幸福度ランキング総合1位の自慢できる福井県であるよう意識し尽力して、

日本人社員とも外国人社員とも
一生のお付き合い